

学内組織協働による オープンアクセスの推進

横浜国立大学における
オープンアクセスの取り組み

横浜国立大学 研究推進機構
特任教員(助教)・URA 松浦 かな

本学のオープンアクセス推進

附属図書館

- 学術情報リポジトリの運営
(平成19年～)
- オープンアクセス方針 (平成30年2月)

情報基盤センター

- ネットワークインフラ・学認認証の提供
- GakuNinRDM & GakuNin LMSの運営

専任URA



・前AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業（人材育成チーム）
・元分野別データリポジトリのデータキュレータ
・元臨床研究のデータマネジャー（SOP作成支援）
・元サーバ管理者（SE）
・司書資格あり

実働部隊投入



- 研究データ管理・公開ポリシー
(令和6年3月21日)

全学データ基盤整備タスクフォース

URA

- ORCID iD取得を推奨 (平成26年～)
- オープンサイエンスワークショップ (平成28年2月)
- 論文投稿料支援 (平成29年～)
- 粗悪なオープンアクセスジャーナルへの注意喚起 (平成30年10月)

研究データ
公開に言及

オープンアクセス加速化事業の取組

1. 公開基盤・体制の整備

- 研究業績登録データと連携したリポジトリ登録システムを構築

2. 支援体制の整備

- 中央図書館への機能集約による支援人材の確保
- 図書館職員に対する研究データ管理支援人材育成
- 研究者に対する研究データ管理・公開支援の実施

3. データ管理基盤の整備

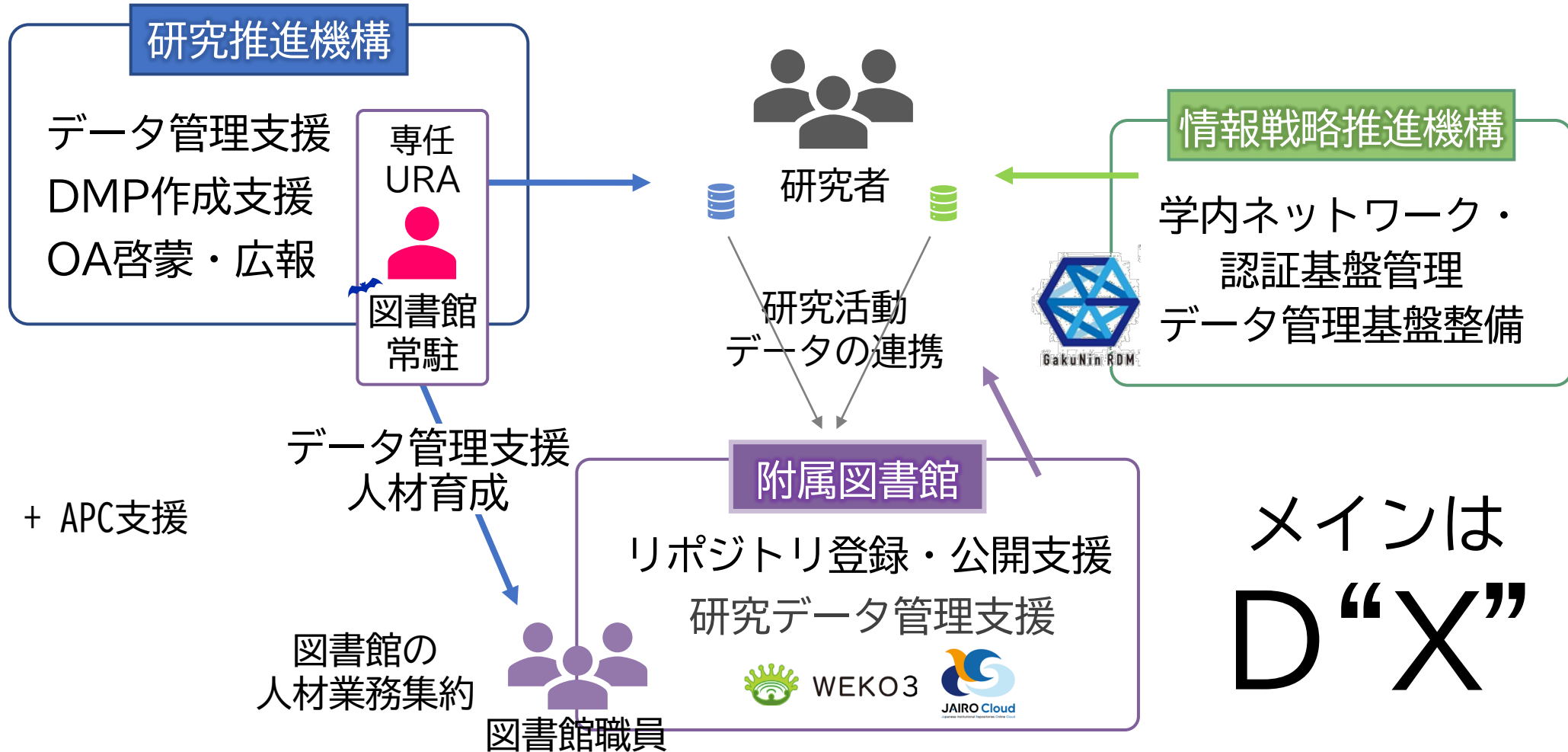
- 学内インターネット通信環境の増強
- 拡張ストレージの導入

4. 啓蒙・教育活動の展開

- 研究者（学生を含む）向けの研究データ管理・公開に関する啓蒙・教育活動
- オープンアクセスに関する広報活動

+ APC支援

オープンアクセス加速化事業の取組体制



オープンアクセス化にかかる行動を研究活動に組み入れる(啓蒙)

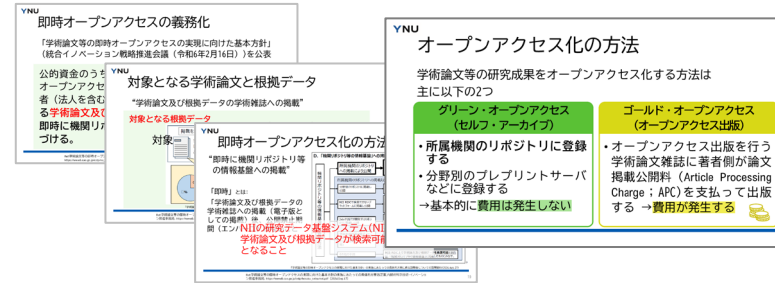
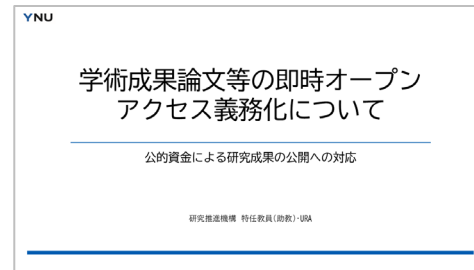
- ・ 即時オープンアクセス義務化の情報提供（教授会）



研究者



専任URA



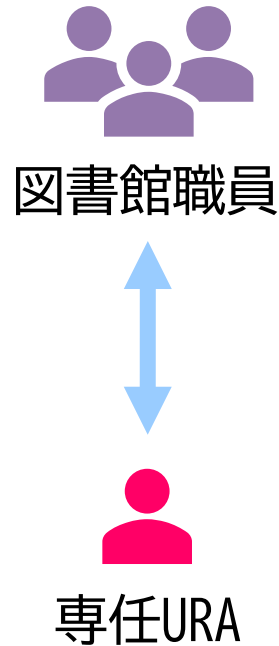
質疑応答による研究者の理解度や
必要な支援の把握

- ・ 科研費など公的資金でのオープンアクセス対応についての情報提供（DMP作成や年次報告）

研究データ管理・公開支援ポータル（仮）の配信予定

- ・ APC支援事業でのリポジトリ登録への誘導（意識づけ）

研究活動でのオープンアクセスの位置づけ について理解を深める



- リポジトリ担当とURAでの定期的な意見交換会（勉強会を目指す！）
- 九州大学研究データ管理支援人材育成プログラムの受講
研究活動～研究成果公開（リポジトリ登録）の作業
の理解
→研究者へのアプローチ・ガイドの最適化
- 転換契約制度でのリポジトリ登録への誘導（意識づけ）

本当に” 実施可能な” 実施要領・環境の整備